

イベント NEWS

西東京をもっと楽しむ情報満載!

腐葉土と土づくり体験教室

2月28日(土) 午後1時30分～3時30分
西東京育苗センター(下保谷5-6)
※駐車場なし

市内の公園で集めた落ち葉を使い、公園管理の花壇などで使う腐葉土づくりと、有機質原料と肥料を混ぜ合わせて作る花栽培の培養土づくりが体験できます。

- 定 30人(申込順)
- 料 500円(資料代)
- 申 2月23日(月)までに、電話で問へ
- 問 NPO法人西東京花の会
(小山田 ☎080-5520-8842)
- ◆みどり公園課保
(☎042-438-4045)

講座「東日本大震災とわたしたち～記録すること、記憶すること～」

- ① 3月1日(日)・田無公民館
- ② 3月20日(金)・中央図書館
午後2時～4時(全2回)

阪神・淡路大震災から20年、新潟県中越地震から10年、東日本大震災から4年。被災地の自治体が未来へ語り継ぎと作成し、ホームページで公開している写真などの記録から振り返ります。

- 内 ①震災アーカイブを見る
②インターネットを使って自分で調べ方を学ぶ
- 定 20人(申込順)
- 申 2月17日(火)午前10時から、開館時間中に下記へ電話または来館
- ◆中央図書館(☎042-465-0823)

西東京市ほっとネットステーション・まちづくりサミット

3月7日(土) 午前10時～午後3時
西東京市民会館

地域の困り事を見つけて、つなげて、動くために何が出来るか、地域の活動事例を通して、一緒に語り合い、考えてみませんか。

- 内 ●基調講演…市民の出来る事～見守る、つながる、参加する～
- 事例発表・活動報告…まちで活動している人を知ろう!
- ワールド・カフェ…まちのお困り事をつなげよう!
- ※本サミットに参加した方は、ほっとネット推進員として登録できます。
- 定 100人(申込順)
- 申 2月27日(金)までに、電話・ファクス・Eメールで、住所・氏名・電話番号を添えて問へ
- 問 ほっとネット田無ステーション
(☎042-497-4158・FAX042-466-3555・✉hot-net@n-csw.or.jp)
- ◆生活福祉課保(☎042-438-4024)

図書館文化講演会“おじさん”が求められる時代—父でもなく、兄でもなく—

3月7日(土)
午後2時～4時(1時40分開場)
保谷駅前公民館

“おじさん”とはどんな人なのか。今、“おじさん”的存在といえる人は誰なのか。父と兄の間ぐらいの存在である、おじさんの力について考えます。

- 定 70人(申込順)
- 講 永江朗さん(評論家。著書多数)
- 申 2月18日(水)午前10時から、開館時間中に下記へ電話または来館
- ◆中央図書館(☎042-465-0823)

身近な植物を観察しよう! ボタニカルアート講座

3月14日(土)・15日(日)
午前9時30分～午後0時30分(全2回)
エコプラザ西東京

身近な草花を観察し描くボタニカルアート。美しいデザインや市の自然を考えながら、花をモチーフにして、スケッチ・水彩色付けを行います。

- 対・定 市内在住・在勤・在学の18歳以上で両日参加できる方・15人(申込順)
- 持 描きたい植物の花(A4サイズに収まるもの)・ねり消しゴム・鉛筆2本(Hと3H)・15cm定規・面相筆(丸筆中と小サイズ)・透明水彩絵の具12色(お持ちの方のみ)
- 申 2月17日(火)午前9時から、電話・ファクス・Eメールで住所・氏名・電話番号・年齢を添えて問へ
- 問 エコプラザ西東京(☎042-421-8585・FAX042-421-8586・✉ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp)
- ※電話受付:午前9時～午後5時
- ◆環境保全課(☎042-438-4042)

手話講習会通訳養成クラス

4月～翌年3月の毎週木曜日
午後7時(全35回)
障害者総合支援センターフレンドリー

手話通訳者養成を目的とし、12月5日(土)実施の全国手話通訳者統一試験に向けた講習会の、受講生を募集します。
対 市内在住で、平成26年3月31日までに手話学習歴3年以上および手話講習会上級相当修了者であり、下記の選考試験に合格した方

- 選考試験
- 時 3月5日(休)午後7時
- 場 障害者総合支援センターフレンドリー
- 内 読み取り・聞き取り
- 申 2月16日(月)～27日(金)に、電話で問へ
- 問 保谷障害者福祉センター
(☎042-463-9861)
- ◆障害福祉課保
(☎042-438-4034)

「西東京市からのお知らせ」で市の最新情報を放送しています

エフエム西東京(84.2MHz)

- 放送時間
- 月～金曜日 ①午後0時45分～1時
②午後8時～8時15分
- 土・日曜日 午後0時45分～1時
- ※「西東京市からのお知らせ」は、ラジオのほかにエフエム西東京HPからサイマル放送(インターネットによる同時放送)やポッドキャスト(インターネット上でいつでも聴ける録音放送HP <http://www.voiceblog.jp/shiho842/>)でも聴くことができます。
- ◆秘書広報課保(☎042-460-9804)

市では、市報に掲載した事業や催し物など生活に密着した情報を、エフエムラジオ放送で皆さんにお知らせしています。

市の職員が、事業などについてインタビューに応じる形で説明をするコーナーもあります。

お手持ちのラジオをエフエム放送のダイヤル84.2メガヘルツ(エフエム西東京)に合わせて、ぜひお聴きください。

大好きです
西東京

市内の情報をお届けします

季節の歴史散歩編

西東京の「アイ」ある風景

2月のこの季節は、愛を伝える行事に向けて、街にハートマークや「LOVE」の文字があふれますね。そこで今回は、西東京市の「アイ」について紹介します。

●「アイ」その1…藍

今は見かけなくなりましたが、かつてこの地域では「藍」の生産が盛んでした。といっても、藍で染めた糸や織物ではなく、藍染めの原料となる「藍玉」という、藍の葉を発酵させた「すくも」を突き固めたものを作っていました。このようにすると、季節にかかわらず相場を見計らって商いをする



下保谷で残されている藍玉作りの道具

ことができるため、商才のある人の中には大きな富を築いた人もいました。かつて保谷にあった「民族学博物館」の建設に携わり、昭和初期に保谷の生活や風習などを「武蔵保谷村郷土資料」にまとめた高橋文太郎の生家もそういった家の一つで、父の源太郎は武蔵野鉄道(今の西武池袋線)の筆頭株主にもなり、保谷に鉄道を通すことに尽力しました。文太郎の本には、保谷の藍作りについても書かれています。

そのほか、谷戸にある尉殿神社の老の鳥居手前の参道入り口左右には「納人 藍商 野口角次郎」大正十三年八月建設」と記した小さな石碑があります(住吉町1-21-3)。

●「アイ」その2…アイアイ♪アイアイ♪おさるさんだよ～♪

ちょっと強引ですが、次はお猿さんのお話です。

猿は、帝釈天の前立^{まへだて}といって、お使いのような役を担っています。この地域では「庚申信仰」が古くから盛んで、市内には多くの「庚申塔」が残されています。「庚申」の「申」は猿。十二支の組み合わせで日時を示していたころ、「庚申」の日に神様に悪行を報告されないように、夜通し講を行いました(講とは、民間宗教などのつながりによる地域ごとなどの集団や、その会合のことをいいます)。庚申塔には「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿が彫られているのが一般的です。庚申塔は道しるべも兼ねるものが多く、街道筋によく見られます。青梅街道沿いにある「柳沢庚申塔」(田無



いつも花が飾られている柳沢庚申塔



上保谷新田の人々によって建てられた庚申塔

町2-22:市指定文化財第28号)、鈴木街道近く、五日市街道沿いにある「文字庚申塔」(新町1-2:市指定文化財第20号)などは、彫りがとても見事です。

ユーモラスなお猿さんたちを眺めながら、日頃の行いを省み、「愛」で心を満たしてみませんか。

- ◆社会教育課保(☎042-438-4079)
- ◆秘書広報課保(☎042-460-9804)

ふるさと発見!
8